

総合分析

試験区分 一般

制限時間 90分 大問数 全4問

合格に要する能力（5段階）



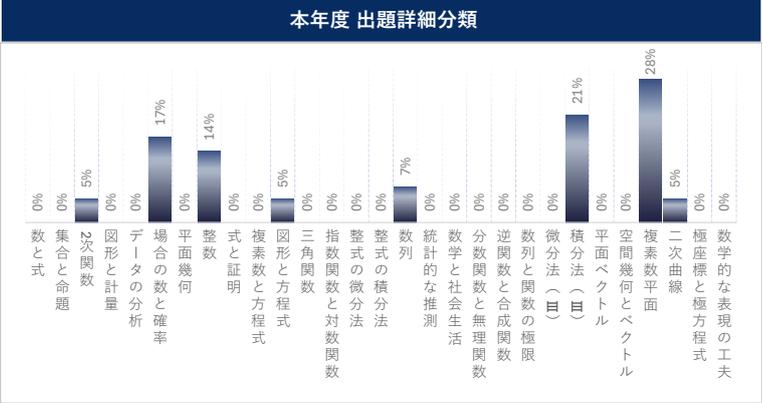
合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.4	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.3	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.8	解くことに必要な知識の量
初手力	4.1	初手の難しさ
見極力	4.4	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野	
数学 I	5%
数学 A	31%
数学 II	5%
数学 B	7%
数学 III	21%
数学 C	32%

本年度 解答形式	
論述	83%
答	

本年度出題テーマ一覧	
第1問	サイコロの確率
第2問	面積評価
第3問	二次曲線と整数問題
第4問	複素数平面



特殊問題の有無	記述あり	証明あり
統計なし	数IIIあり	長文なし

総合評価					
難度	3.9	最難を5とする問題自体の難度	やや難しい	一次合格に必要な正答率（予想）	58%
分量	100分	完答に要する時間（制限時間は90分）	やや多い	標準	

**入試の特徴と対策**  
強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校数学の学習でよい。

**入試から見る大学が求める学生像**  
各大問に解きやすい問題と解きづらい問題が混在しており、非常にバランスの良いセットである。高得点をとることは難しいかもしれないが数学が得意な学生はしっかりと点数を稼げたのではないかと考えられる。しっかりと差がつくセットではあるので、自分の学力を自己分析できている学生を求めていると考えられる。